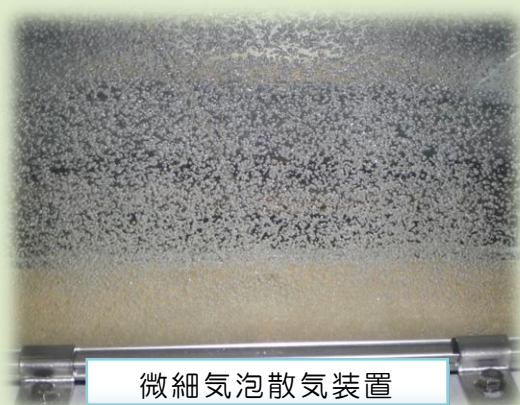


下水道事業における  
地球温暖化防止計画

# アースプラン2010

～快適な地球環境を次世代に～



# アースプラン2010

～快適な地球環境を次世代に～

## アースプラン 2010 の策定にあたって

北極の海氷が、面積の縮小ばかりか、いままで溶けることのなかった厚い氷の部分も薄くなりつつあると米国航空宇宙局（NASA）により明らかにされ、多くの研究者が今世紀中に消失の恐れをも予測しています。地球温暖化は深刻な状況にあり、今後、世界の様々な地域において、気候や生態系への影響が劇的に高まることが指摘されています。

わが国は、京都議定書において、温室効果ガスの総排出量を 2008 年から 2012 年の第一約束期間に 1990 年比で 6%削減することを約束し、目標を達成するための取組を推進しています。一方、東京都でも、世界で最も環境負荷の少ない先進的な環境都市の実現を目指して「カーボンマイナス東京 10 年プロジェクト」に取り組んでいます。

東京都の下水道事業は、都の事務事業活動で排出される温室効果ガスの約 4 割を排出するなど、地球温暖化防止に対する大きな責任を負っています。

このため、下水道局では、京都議定書に先駆け、2004 年 9 月に下水道事業における地球温暖化防止計画「アースプラン 2004」を策定し、温室効果ガス削減対策を実施してまいりました。温室効果ガスの排出量を 2009 年度までに 1990 年度比で 6%以上削減する目標は、既に前倒して達成できています。

しかし、今後も、下水道の機能を向上させることに伴い、温室効果ガス排出量の増加が見込まれるため、様々な工夫や新たな技術の導入により、一層の温室効果ガスを削減する努力が求められています。

そのため、アースプラン 2004 を継承し、下水道事業における地球温暖化防止の新たな道筋を示す「アースプラン 2010」を策定しました。

従来の対策の拡充に加え、新たな視点に基づく取組や技術開発を実施し、2020 年度までに、下水道事業から排出される温室効果ガスを 2000 年度比で 25%以上削減することを目指します。そして、都の温室効果ガス削減対策の先導的な役割を担い、カーボンマイナス東京 10 年プロジェクトの目標達成に貢献いたします。

地球温暖化防止に向けて、徹底した省エネルギーや処理工程の見直し、下水熱等未利用エネルギーの活用など様々な対策に積極的に取り組んでまいります。快適な地球環境を次世代に継承していくために、今後とも、都民のみなさまをはじめ、関係各位のご理解とご協力をお願いいたします。

平成 22 年 2 月

東京都下水道局長 松田二郎

# 目 次

## 第1章 目標

- 1-1 アースプラン 2010 の目標 . . . . . 2

## 第2章 策定の背景

- 2-1 地球温暖化対策の動向 . . . . . 6
- 2-2 アースプラン 2004 の取組状況 . . . . . 8

## 第3章 基本方針

- 3-1 基本方針 . . . . . 12
- 3-2 削減目標 . . . . . 12
- 3-3 計画の基礎 . . . . . 14
- 3-4 基本的考え方 . . . . . 17
- 3-5 施策のまとめ . . . . . 18

## 第4章 温室効果ガスの削減

- 4-1 徹底した省エネルギー . . . . . 23
- 4-2 処理工程・方法の見直し . . . . . 31
- 4-3 未利用・再生可能エネルギーの活用 . . . . . 37
- 4-4 技術開発 . . . . . 43
- 4-5 協働事業 . . . . . 45
- 4-6 お客さまとの連携 . . . . . 49

## 第5章 環境確保条例

- 5-1 温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度 . . . 52

